

2023年9月14日(木)

新宿区議会
議長
副議長
各派幹事長 各位

当事者を含めた議論を求める申し入れ

新宿区議会 れいわ新選組 新宿
さわいめぐみ

●申し入れを行うに至った経緯

20期議会のはじめに各派代表者会議で質問時間に関する議論を行った。会派として十分な質疑が行えるよう何度も申請し、全体の時間を延ばす代替案もあったが、結果一般質問においてひとり会派は第17期18期25分、19期15分であった質問時間をさらに削られ、20期9分とすることが決定されました。

れいわ新選組 新宿は議会が担うべき責務内容の弱体化への懸念、多数決一辺倒の議論軽視のプロセスへの異議を訴え、「質問時間短縮に異議を訴え、多様性を尊重する議会への改革を求める申し入れ」を行いました。

また議会運営委員会内で行われていた議案説明の時間へのひとり会派の出席を否認する決定についても、当事者不在の議論のプロセスと決定について「オープンかつ議論軽視をしない議会運営を求める申し入れ」を去る9月7日に行ったばかりです。

そして今回再び、決算特別委員会、予算特別委員会における質疑時間を変更する話し合いが当事者不在のまま行われています。

●申し入れを行う理由

さまざまな考え方、価値観を持ったひとびとの集まりの中で物事の合意形成を行うには、当事者同士のオープンかつ十分な議論をすることが必須です。そのプロセスを軽視し強行に物事を推し進める姿勢は、信頼関係の構築を危うくさせ今後の円滑な議会運営に支障をきたす恐れがあります。

●結論

よってこのような議論のプロセスと決定について、民主主義のもう一つの根幹である少数派の尊重が果たされていないと考え、当事者を含めた議論を行うことを求め、ここに申し入れをいたします。

以上